

令和3年度 いわき市民種目別スポーツ大会
兼いわき地区秋季陸上競技選手権大会要項

1. 主催 いわき市 いわき陸上競技協会
2. 期 日 令和3年10月16日(土)～10月17日(日)
3. 場 所 いわき陸上競技場
4. 参加対象 中学生・高校生・一般
5. 種 目
(男子) 100m 400m 1500m 5000m 110mH
400mH 4×100mR
スウェーデンリレー(100m+200m+300m+400m) R
棒高跳 走高跳 走幅跳 三段跳
砲丸投(一般・高校・中学) やり投 円盤投 ハンマー投
(女子) 100m 400m 1500m 3000m 100mH
400mH 4×100mR
スウェーデンリレー(100m+200m+300m+400m) R
棒高跳 走高跳 走幅跳 三段跳
砲丸投(一般・高校・中学) やり投 円盤投 ハンマー投
※100mH・110mHについては、中学生は男女とも単独で実施。

- 6 参加制限 中学生・高校生・一般：1人2種目まで。(リレーを除く)
1校1種目(中学生は4名、高校生は5名以内)とする。
リレー競技については各校1チームとする。

※新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から他県及び他地区からのエントリーは認めない。

※ふくしま駅伝にエントリーされている選手は、各校の参加枠に含めない。

- 7 参加料 1人500円

- 8 競技方法 トラック競技(100・400・100H・110H・400H・4×100R・スウェーデンリレー)については、タイムレース予選・決勝とする。
(1500・3000・5000)については、タイムレース決勝とする。
(詳しくは競技日程案参照)

9. 参加申し込み方法

【10月8日(金)】までに下記のとおり申し込むこと。

中学校・高校・一般の参加申し込みについて

【いわき陸上競技協会 HP】<http://gold.jaic.org/iwaki/> からエントリーシートをダウンロードし、下記宛先までデータを送ること。

福島高専内 鈴木茂和 宛 ssuzuki@fukushima-nct.ac.jp

10. プログラム編成会議

令和3年10月15日（金）午後3時00分～ いわき陸上競技場

参加一覧表（中・高共にA4版で統一）をプログラム編成会議に持参してください。女子の一覧表は上辺を朱書きしてください。

ナンバーカードについては今年度登録番号を使用。

参加料の納入につきましてもプログラム編成会議時に納入方お願いします。

また、プログラム編成会議には参加される学校の顧問の先生（各校1名以上）の出席をお願いします。

11. 表彰 各種目第3位までの入賞者には賞状を授与する。

12. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者および共催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を順守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式HPその他競技運営および陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 本大会はインターネットで動画配信を行うことがある。
- (3) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者、共催者、共催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝の目的で、大会プログラム等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に記載することがある。

13. 体調管理チェックシートについて

- (1) 競技者及び監督・コーチ、競技役員、補助員は当協会のHPに掲載されている「体調管理チェックシート」をオンラインで提出すること。
- (2) 発熱などの体調不良、体調管理シートの未提出者は競技場内への入場および競技会参加について、主催者は断ることができる。
- (3) その他、詳細については別紙「競技会参加にあたって」を参照のこと。

14. 観戦について

本大会は、無観客開催とする。

※観戦自粛のご協力をお願いしていますが、未だに競技場周辺、総合体育館周辺、サブグラウンド裏の丘等で観戦している保護者がいます。無観客開催にしている趣旨をご理解いただき大会運営にご協力お願いいたします。

競技会参加にあたって

いわき陸上競技協会

I. 競技者

- ①競技会 1 週間前から検温し、いわき陸上競技協会HP (<http://gold.jaic.org/iwaki/>) 内に掲載されている体調管理チェック表をオンラインで大会当日の朝 8 : 0 0 までに本部に提出する。提出していない競技者は、出場不可となる場合がある。
- ②運動時以外（招集中・移動中・待機中を含む）のマスク着用（熱中症に注意）、競技終了後の手洗い・洗顔を徹底する。
- ③3密行動を心がける。
- ④ウォーミングアップは、個別に行う。
- ⑤競技用具使用後は手洗い・手指の消毒をする。
- ⑥更衣室・シャワールームは当面の間使用禁止とする。
- ⑦運動中につばや痰を吐くことをしない。
- ⑧ごみは全て持ち帰ること。
- ⑨滑り止め（炭酸マグネシウム）は各自準備すること。
- ⑩競技会終了後、2 週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には、最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

II. チーム関係者

※以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。

- ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

- ①マスクの着用（熱中症に注意）、手洗い、洗顔を徹底する。
- ②3密行動を心がける。
- ③声を出しての応援、集団での応援は行わない。
- ④競技者に付き添う場合の競技者との接触、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意する。
- ⑤混雑を回避するため、競技者に付き添う者のウォームアップエリアへの立ち入りをしないこと。
- ⑥コーチがコーチ席から競技者に向かって話す際は、マスク着用の上、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ⑦競技会終了後、2 週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には、最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

Ⅲ. 報道関係者

- ①取材時はマスクを着用する。
- ②開催1週間前の体調管理・検温の義務と体調チェック表の提出および終了後2週間の体調管理・検温を行う。
- ③会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心がける。
- ④取材人数・取材方法・取材エリアを順守する。
- ⑤競技会終了後、2週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には、最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

上記の内容について、ご協力いただけない場合には、大会主催者は参加および競技場内入場を断ることができる。